

りかい ひょうげん
《ことばの理解と表現》

【問題1】

(30)

文章を聴^きいて、以下の問いに答えなさい。

問1

これから文章を読みあげます。その文章をできるだけ正確に書き取って下さい。文章は全部で2回読みます。1回目は、ゆっくりと読みますので、鉛筆をもって書き取ってください。句読点も読みあげます。また、段落の前では「行を変えて下さい」と言います。すぐに漢字を思い出せないときはひらがなで書き留めておいて下さい。2回目は、1回目より速く読みます。ここでは、直すところをチェックしたり、簡単な訂正をして下さい。2回目の朗読が終わった後、しっかり書き直して下さい。書き直しの時間は約10分です。

問2

もう一度文章を読みあげます。どんな情景、どんな光景があなたの頭に浮かびますか？あなたの頭に浮かんできたそのイメージを簡単な絵にして書いてみてください。小学生が描くスケッチ程度の絵で十分です。絵が上手であるかそうでないかは気にする必要がありません。目安時間は8分です。

《読み上げ文》

夏の昼間、植物は多くの水を使います。長い間、森や山に育っている樹木は、広い範囲に根を張りめぐらせているので、多くの水を吸収することができます。また、そんな樹木たちの下に生きる小さな木や草は陰になっているので、強い光が当たりません。だから、水不足になることはありません。

水の不足に困るのは、家の庭や畑、花壇で育つ植物たちです。だから、これらの植物たちには、たっぷり水をやる必要があります。夏の猛暑の中では、昼間の暑さのために、夕方になると、庭や畑、花壇の土はカラカラに乾きます。ですから、水をやるのは、夕方がいいのです。

夕方、水不足のために、ぐったりと葉っぱを下に垂らしていた植物も、夜の間に水を吸って、朝にはピンと葉っぱを広げます。

【問題2】

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

あなたは川の水が、なぜなくなるらないか、考えたことがありますか。水は上から①下へ流れています。

(ア)、いつかなくなってもよさそうなものなのに、なくなるらないのはなぜでしょうか。日本のような急斜面の国土では、雨は一日で海へ行ってしまってよいはずです。それなのに、晴れた②日でも流れているのはなぜでしょうか。

そのひみつこそ、森林にありました。森林は、そのふところ③深く雨をうけいれると、④少しずつ地下へおくりこみ、やがて下流へはき出してくれました。地下水の流れは、ひじょうにゆっくりとしています。ふった雨が地下にしみこみ、ふたたび地表にわき出てくるには、三百年も五百年もかかっているほどです。

土にしみこまず、地表をすべりおちる水は、洪水です。一日で海へすてられてしまう水ですね。

ゆっくりと、地下をくぐってきたわき水は、⑤集まって谷川になり、小さな川になり、やがて大きな流れになって、平野をうるおしてくれました。日本では、少くらしい日照りがつづいても水がたえなかったのは、国土の⑥七割をしめる大森林のおかげでした。

もう一つ、ふしぎなことがありました。森林の土はなぜ、水にとけてなくなってしまうのでしょうか。

わたしたちが、ベランダやコンクリートの道の上に、植木ばちの土をひっくりかえしたりしてほうっておくと、いつのまにか土はなくなってしまいます。ところが山の斜面には、いつも土がありますね。ふしぎです。

それもまた、森林のおかげでした。森林の木の根がしっかりと土をかかえて、斜面にはりつけていたのです。土ばかりではありません。土の下にある岩石も、木の根はだきかかえてくれました。

大地はつねに⑦動いています。とりわけ、日本は火山国です。地震国です。そして、山は急斜面です。そのうえ、雨はつゆと秋の台風の時期に、まとまってふります。⑧困ったことが、四つも重なりあっています。今も集中豪雨のたびに、山くずれがおこっていますね。

(イ)山々に木がなかったら、土ははがれ、山はくずれ、日本列島は石だらけになっていたことでしょう。

雨のたび、土砂と洪水が下流をおそい、⑨人々は平野に住むことができなかったことでしょう。山くずれや水害から、平野を守ってくれているのも、森林だったのです。

さて、こうして森林に守られながら、平野では、水田がひらかれていきました。平野の土も、もともとは、森林のおくりものでしたね。ゆたかな土と、ゆたかな水にめぐまれて、平野のお米はよくみのりました。

そのお米は船にのせられ、川の水で町へと運ばれていきました。どこまでも、森林のお世話になりつづ

けだったのです。

A お米がたくさんとれるようになると、平野^{へいや}はどんどん発展^{はってん}していきました。町はどんどん大きくなり、船の

⑫ 交通も、いよいよさかんになりました。木材^{もくざい}も、いよいよ必要になりました。(ウ)もっとたくさんの木が、

⑬ 切り出されていきました。いかだ流しも、いっそう⑭ 活発になりました。

日本の⑮ 文化は、(エ)ようにして発展^{はってん}してきたのでした。わたしたちが、この国土^{こくど}に生まれてくること
ができたのも、まったく森林^{しんりん}のおかげでした。

(とみやまかずこもり
『富山和子『森は生きている』1984年より)

問1 ①～⑮の傍線部^{ぼうせんぶ}の漢字にふりがなを付けなさい。

(2×15=30)

問2 ア～エにもっともよくあてはまると思うことはをa～dから選び^{ぶひごう}符号で答えなさい。

(3×4=12)

ア a ですから b しかも c しかし d たとえば

イ a だから b もしも c しかし d つまり

ウ a そこで b だから c たとえば d しかし

エ a これ b どの c この d あの

問3 本文の内容にあっているものには○をあてないものには×を付けなさい。

(3×4=12)

ア 川の流れは地下水の流れよりはやい。

イ 晴れた日でも川の水が流れているのは日本の国土^{きゅうしやめん}が急斜面だからです。

ウ 日本の国土のおよそ2/3が森林でおおわれている。

エ 森林のおかげで、人々は雨が降っても土砂^{どしゃ}と洪水^{こうずい}にあわずに、平野^{へいや}に住むことができる。

問4 傍線部^{ぼうせんぶ}Aについて。

お米がたくさんとれるようになるとどんなことが起きますか。2つ答えなさい。 (4×2=8)

問5 本文を参考^{さんこう}にしながら、あなたの国の自然の^{とくちよう}特徴^{かんたん}を簡単に説明してください。 (8)